

行こうか! 万博

大阪・関西万博レポート①

信楽焼の素材と技術をPR～「LOCAL JAPAN展」に出展しました～

世界に誇る日本各地の伝統や自然、最先端の技術を再認識してもらうための万博催事「LOCAL JAPAN展」が7月28日から31日まで開催されました。東北から沖縄まで全国43の自治体に参加する中、信楽焼の産地である甲賀市は、金属製品加工業が盛んな新潟県三条市との共創ブース「鉄と土と火と、」を出展しました。

実演ブースでは、ろくろを回して粘土を成形する信楽焼の職人と、1枚の銅板を金槌で叩いて成形する鋳起銅器の職人が並び、手仕事によるものづくりを実演披露しました。普段間近で見ることができない匠の技にたくさんの方が魅了され、大盛況のうちに終了しました。



▲匠による実演コラボレーション



▲コラボレーションした
新潟県三条市の
滝沢市長と2ショット♪



公式ロゴをモチーフとした▶
信楽焼の置物も展示されました!



大阪・関西万博レポート②

信楽高校とオーストリアの生徒が「陶芸」を通じて国際交流!

「オーストリアの国の形と琵琶湖の形がそっくり」というSNS投稿がきっかけとなり、オーストリア・ブルゲンラント州と滋賀県の間で、令和5年に「交流と協力に関する覚書」が締結されました。そして、今回の大阪・関西万博を通じて「食」「音楽」「陶芸」の分野で交流イベントが開催されました。

陶芸の分野では、滋賀県を代表して信楽高校の陶芸部がオンラインによる地域紹介プレゼンを行い、5月から2カ月間お互いのまちをイメージした陶芸作品を制作し、7月から8月にかけて万博会場内で展示されました。万博を通じて国際交流がさらに活性化するといいですね!



▲オンラインミーティング後の雑談では、
アニメやマンガの話で盛り上がりました♪



▲ブルゲンラント州の歴史やお互いの地に共通する
湖、野鳥などをイメージして制作しました!



▲万博会場で展示された
それぞれの生徒による作品

台風への備えはできていますか?

問 危機管理課 防災危機管理係
☎ 69-2103 ☎ 63-4619

台風や大雨は毎年大きな被害をもたらします。もしもの時のために、事前に備える5つのポイントをもう一度確認しましょう。

①自宅周辺の災害リスクを確認

滋賀県防災情報マップ

災害ごとのリスクをマップで確認することができます。自宅の災害リスクを確認し、早めの避難行動をしましょう。

滋賀県防災マップ



より詳しい内容は「甲賀市防災マップ 2022保存版」から確認できます。



甲賀市防災マップ



②避難場所の確認

- 学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しましょう。
- 日頃から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておきましょう。
- 避難するときは持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしましょう。

詳しくはこちら



③非常持出品の用意

- 食料(最低3日分の用意)
飲料水(1人1日3ℓ)、ご飯(アルファ米等)
レトルト食品、乾パンなど
- 日用品
懐中電灯、モバイルバッテリー、携帯ラジオ、
ティッシュ、ライター、毛布など
- 衣類 上着、下着、靴下など
- 貴重品 現金、身分証明書、通帳のコピーなど
- その他
衛生用品(歯ブラシ、タオルなど)、救急用品、
持病薬、常備薬、お薬手帳など



④避難の判断基準とタイミング

警戒レベル5(緊急安全確保)は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。自宅の上の階やがけから離れた部屋に移動しましょう。

警戒レベル4(避難指示)で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は警戒レベル3(高齢者等避難)で危険な場所から避難しましょう。

警戒レベル(避難情報等)			
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	市が出す避難情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難!			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認	—
1	今後気象情報悪化 のおそれ	災害への心構えを 高める	—

⑤災害情報の入手

正確な災害情報をより早く取得し、**早めの避難行動**につなげましょう。

気象庁 キキクル

雨や台風などの風水害による災害の危険度を地図上にリアルタイムで確認できます。



あいこうか緊急メール

気象情報や避難情報等を携帯電話やスマートフォンにメール配信するサービスを行っています。

